

目次

◆巻頭言	高速道路の管理 における課題と機械化	中道文基	/ 1
昭和63年度建設機械の生産・輸出入の動向		福島洋	/ 3
東名高速道路改築における 新鍛冶屋敷橋工事に伴う防護工		小角泉谷 中関阿部	政務裕清之 和
東名高速道路改築に伴う 跨高速道路橋撤去の工法		川口正昭	/ 17
先端づり移動式作業車を用いた 日中大橋(PC斜張橋)の施工		飯野中田 関茂文	実義 夫

グラビヤ——先端づり移動式作業車を用いた日中大橋の施工

北越北線第1飯室トンネル(東)の 施工計画と機械施工		設楽俊雄	/ 29
和歌山県加太開発計画に係る土砂採取事業 ——関西国際空港埋立用土砂の供給		堀内洋	/ 33
◆随想	モノのかたちについて	林茂樹	/ 39
光波測距儀を用いた地すべり自動観測システム		大野睦雄 馬渡裕二 T.D.フィッシャー	/ 41
◆昭和63年度官公庁・建設業界で採用した新機種			
建設省		北川原近藤	徹久
運輸省		酒井浩	/ 48
昭和63年の建設機械新機種とその傾向		杉山庸夫	/ 51

◆新工法紹介	コンクリート自動締めシステム/KTS工法/ プレビック工法/自律走行式床作業ロボット	調査部会	/ 56
◆新機種ニュース		調査部会	/ 60
◆文献調査	文献目録紹介	文献調査委員会	/ 63
◆ISO規格紹介	土工機械に関するISO規格(40)	ISO部会	/ 66
◆整備技術	——特別寄稿——油圧作動油劣化度の測定	小川勝	/ 70
◆統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	/ 75
行事一覧			/ 76
編集後記		(宮田・佐藤)	/ 78

◀表紙写真説明▶

油圧式ショベル S 280 F 2

住友建機株式会社

本機は、従来機にさらに機能性・安全性・操作性を追求した「スーパー F2シリーズ」のひとつであり下記の特徴を有する。

① 走行速度を2速化, 作業現場, 内容にあった速度の選択が可能。また走行駆動力, 走破性も向上した。

② 「人間尊重」の基本設計思想により豊かな居住空間を実現。アームレストスライド機構にハネ上げ機構をプラスした。

③ コンピュータによるエンジン・ポンプ制御システム(CAPS)により経済性, 操作性を向上, また左フットレストに配置された走行切替スイッチにより走行速度切替も容易。

◀主な仕様▶

バケット容量	0.45~1.0 m ³
全装備重量	18.5 t
エンジン定格出力	125 PS/2,000 rpm
走行速度	5.5/3.6 km/hr
最大掘削半径	9,840 mm
最大掘削深さ	6,610 mm